

みなみ野病院の「災害時の対応と安全確保」の取り組み ～自衛消防訓練審査会～

自衛消防訓練審査会が7月5日に富士森公園陸上競技場で開催され、市内33事業所から40隊が参加しました。

当院では、2人操法（2号消火栓の部）で、指揮者1名と隊員1名で構成される部門にリハビリ科男子1隊、看護部女子1隊が参加しました。



審査では、火災の発生から消防隊到着までの間に、自衛消防隊が行うべき「初期消火」「通報」「院内放送」等の一連の自衛消防活動が評価されます。

今回女子隊が「敢闘賞」を受賞することができました。



当院では、災害発生時に迅速に確実に行動できるよう、これからも患者様・ご利用者様の安全・安心の確保に努めてまいります。

病院機能評価2回目を受審「認定を更新しました！」

みなみ野病院は、開設2年目の2019年度に病院機能評価3rdG:Ver.2.0の認定証の交付を受けました。今回2回目となる病院機能評価を4月に受審し、7月12日付けで、Ver.3.0（主たる機能：慢性期病院、副機能：リハビリテーション病院、緩和ケア病院）の認定証の交付を受けました。

この認定は、病院の質を審査する第三者機関である「公益財団法人 日本医療機能評価機構」が実施しており、**当院が組織全体の運営管理および提供される医療について、認定基準を満たしている病院**として認められたことになります。

今回の受審結果では、特に秀でた取り組みをしている「S評価」を3項目で獲得しました。

今後も当院は質の高い医療サービスの提供と、健全な病院経営の継続を目指していく所存です。



eisei 医療法人社団永生会
みなみ野病院

〒192-0916 東京都八王子市みなみ野5-30-3

TEL 042-632-8118(代)

TEL 042-632-8154(入院相談)

<https://www.eisei.or.jp/minamino/>



●みなみ野病院は、4つの機能で地域の皆さまに信頼していただける病院づくりを目指しています。今後ともよろしくお願いいたします。



～「医療・介護を通じた 街づくり・人づくり・思い出づくり」を理念とし、
地域の方々を支えていく～ それが私たちの願いです

はーとふる みなみ野

eisei

医療法人社団永生会
みなみ野病院広報誌
2024年 9月 発行

Vol.23

Take Free

〈表紙について〉

パリ2024オリンピックにちなんで、通所リハビリでも5輪モニュメントを掲げました。利用者様は、パラリンピックの競技種目でもある「ボッチャ」で7月からチーム戦でメダルを獲得すべく競っています。ボッチャで使用するボールはスタッフの手作り。日々競技に臨む気持ちは高まり、9月の表彰へと向かいます。



院内ギャラリー

6月から8月のイベントと季節のディスプレイです。

回復期リハ病棟



医療療養病棟



緩和ケア病棟



医療療養病棟



医療療養病棟



医療療養病棟



緩和ケア病棟



通所リハビリ



コンテンツ

- 院内ギャラリー（6月から8月の季節のディスプレイ）
- みなみ野病院を知っていただくための特別企画「みなみ野病院の緩和ケア病棟」
- 災害時の対応と安全確保の取り組み「自衛消防訓練審査会」のご紹介
- 病院機能評価2回目を受審「認定を更新しました！」



みなみ野病院を知っていただくための特別企画

みなみ野病院は、回復期リハビリテーション、慢性期医療、緩和医療、通所リハビリテーションの「4つの機能」で地域の皆様に信頼していただける病院づくりを目指しています。今回新企画として、さらにみなみ野病院を詳しく知っていただくために、病棟の取り組みや働くスタッフを4回シリーズでご紹介いたします。今回の第3回目は、「緩和ケア病棟」です。

みなみ野病院の緩和ケア病棟

1. 緩和ケア病棟とは？

緩和ケア病棟とは、がん等を治すことを目標にした治療ではなく、がん等の進行などに伴う**体やこころのつらさを和らげる医療やケアを専門的に行う病棟**です。

入院時から患者様やご家族の思いを確認し、その意思を尊重しながら、多職種がチームで必要な医療・看護・リハビリを提供しています。

入院での緩和ケアにより、**体やこころのつらさが落ち着いた際にはご希望により退院し**、住み慣れたご自宅に帰ることもできます。



2. みなみ野病院の緩和ケア病棟の特徴は？



緩和ケア病棟では、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、リハビリスタッフ、介護職（看護補助者）がチームで日々の治療・ケアに当たっています。

さらに、緩和医療指導医、緩和ケア認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師など**専門的な資格や認定を持った職員**が病棟に従事しているため、**的確な診断のもと不快な症状を速やかに軽減または取り除くケア**を受けていただけます。また、看護師の資格を持った専門スピリチュアルケア師がお話を傾聴しながら寄り添い、患者様やご家族のこころのケアに対応しています。

3. 病棟環境のご紹介

緩和ケア病棟は、一般病棟と異なり、**できる限り日常生活に近い暮らし**ができるように作られた病棟で、共用のキッチンなどが設けられています。病室は、個室（トイレ付とトイレなし）、多床室、特別室の4種類あり、希望に応じて対応しています。特別室は小上がりの畳付きの部屋で、家族との時間をゆっくり過ごすことができます。



特別室（4室）



談話室（テラス付き）



売店（出張販売）

設備としては、広い談話室があり、**病室以外でも家族との団らんの場**を設けることができます。談話室からは直接テラスに出ることができ、ベッドで寝たまま外気浴をすることでリフレッシュすることができます。また、売店の出張販売が週1回あるので、入院中でも買い物を楽しむこともできます。

4. 緩和ケア病棟の取り組み

スタッフの学びと 質の高い看護の提供

病棟スタッフは、患者様の退院後、患者様・ご家族に対し行ったケアを振り返り、看護の妥当性を検証する**カンファレンス**を行っています。

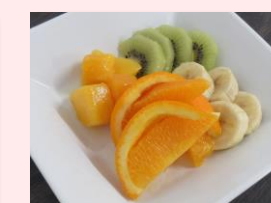
また、ご家族の悲しみや喪失感へのサポート（**グリーフケア**）についての勉強会や、患者の意思決定を支援するプロセス（**ACP**）を学び、より質の高い看護の提供に取り組んでいます。



勉強会 研修
カンファ
レンス

患者様の「食べる」を サポート

患者様やご家族のご希望を伺いながら、最期まで「食べる」ことを楽しめるように、管理栄養士をはじめ、医師・看護師など多職種でサポートしています。体調や病状、嗜好を聞き取り、きめ細やかな対応を心掛けています。



かき氷やフルーツは、食欲がないときでも好評

イベントの開催、 リクリエーション

緩和ケア病棟では、入院中であっても季節感を感じられるよう、季節の行事やイベントを開催しています。

個別でも誕生日会を開催し、家族と一緒に写真撮影なども行っています。またスタッフと一緒に作品づくりに取り組み、展示し楽しんでいただいています。



ご自宅や思い出の 場所への外出

入院後、患者様やご家族の希望があれば、ご自宅や思い出の場所に外出することができます。

外出が決定したら、スタッフが親身になり、安全に外出できるよう、必要な物品や、移動の車の手配など、**一緒に確認しながらお手伝い**します。



地域との連携と 退院支援

緩和ケア病棟では、退院後も患者様やご家族が望む地域や希望する療養場所で、**安心して緩和ケアを継続**できるよう、地域の病院や訪問診療、訪問看護ステーション、地域包括支援センター等と連携を行って退院支援を進めています。



緩和ケア病棟では、つらい症状を取るための一時的な入院、介護するご家族の休息のための短期入院も受け入れております。私たちスタッフは、患者様、そして患者様を支えるご家族のみなさまが心穏やかな時間を過ごしていただけるように、これからもお一人お一人に寄り添い、患者様の生きる力をサポートいたします。